令和7年度　関西大学まちづくり研究報告会

中部縦貫自動車道大野油坂道路の開通による人の動きの変化に関する分析

令和６年２月２２日（日）

１３：００～１５：００

関西大学　北詰　恵一

酒井　佑斗

研究の背景・目的

福井県大野市

- 福井県～長野県へつながる中部縦貫自動車道が新規事業中（大野市を横断）
- 県内全線開通により，中京圏などからの所要時間が短縮され，新たな来訪圏の拡大が期待されている

近畿地方整備局 中部縦貫自動車道/大野油阪道路 事業評価より

背景

- 高速道路の開通を背景とした地域別・属性別の効果が不明である
- 大野市から各地域への誘致戦略のターゲティングが困難である

➡ 大野市を訪れる観光客をターゲットとして

大野市都市マスタープラン令和4年改訂版より

本研究の目的

中部縦貫自動車道の開通を背景に，「誰にとって行きやすくなるのか」「どのエリアからの誘致ポテンシャルが高いのか」という人流効果を明らかにし，大野市の観光政策や受入環境整備に資する基礎資料を得ることを目的とする

研究対象

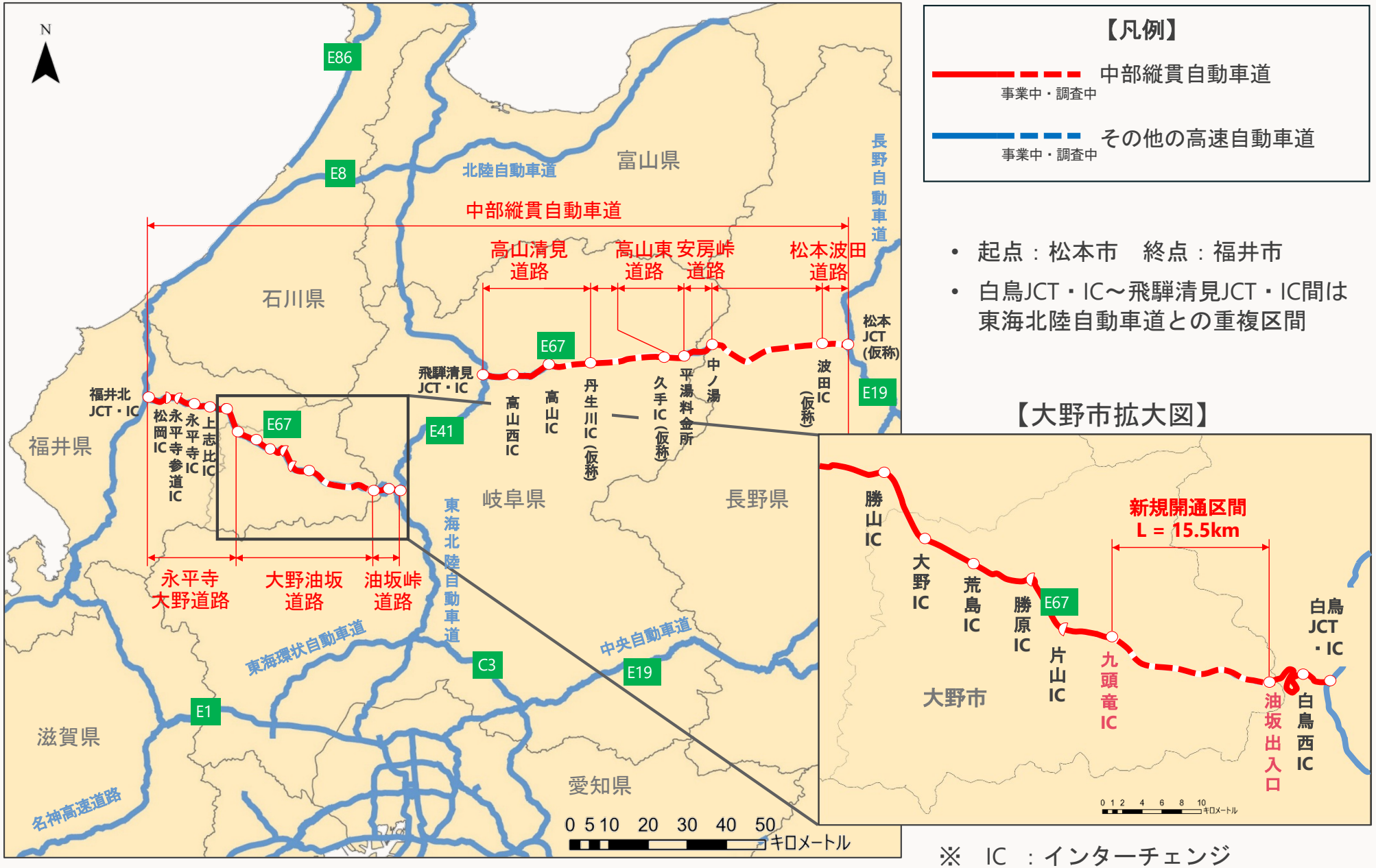


図１　中部縦貫自動車道の整備区間図

- 起点：松本市　終点：福井市
- 白鳥JCT・IC～飛騨清見JCT・IC間は東海北陸自動車道との重複区間

※　IC　：インターチェンジ
　　JCT：ジャンクション

現地走行調査時の様子

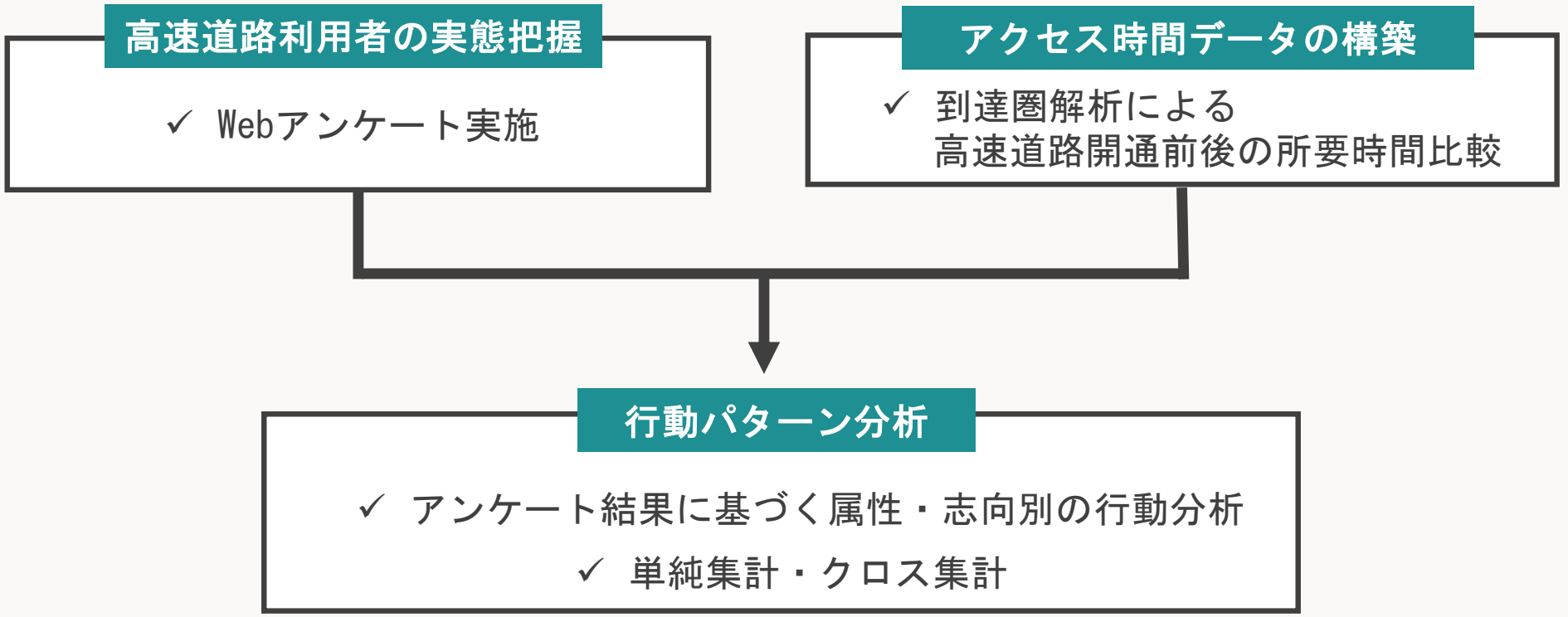
写真1　道路整備の様子（大野市箱ケ瀬付近）

写真2　道の駅 九頭竜の様子

写真2　九頭竜ダムと中部縦貫道整備の様子

2025年11月23日撮影

研究の流れ


高速道路利用者の実態把握
✓ Webアンケート実施
アクセス時間データの構築
✓ 到達圏解析による
高速道路開通前後の所要時間比較
行動パターン分析
✓ アンケート結果に基づく属性・志向別の行動分析
✓ 単純集計・クロス集計

自動車旅行における定義

①目的地
その旅行の動機形成の中心となり，旅行計画の決定要因となった場所．
旅行を計画する際に「ここに行くために」出発したとされる場所．

②立ち寄り
目的地へ行く過程で休憩・給油・買い物・トイレ・食事等のために，
一時的に立ち寄った場所．あらかじめ予定していなくて立ち寄った場所．

- **立ち寄り時間比率r_i**：目的地までの総移動時間に対する立ち寄り時間の割合

基準アクセス時間

計算の基準となる純粋に車を走らせている時間

$$T_{base} = \frac{\text{距離}}{\text{道路種別ごとの設定速度}}$$

距離：出発点から目的地までの道のり距離

道路種別：高速自動車国道や一般国道などの６カテゴリ

➡ 基準のアクセス時間を用いて，所要時間比較を行う

高速道路利用者の実態把握

【アンケート概要】

表1 アンケート調査の概要

調査時期	2025年12月9日～12月12日	
調査方法	Webアンケート調査 （調査協力：株式会社マクロミル）	
対象地域	**富山県，石川県，福井県，長野県， 岐阜県，愛知県に居住の方**	
回答数	324サンプル	
割付数	**福井市ほか: 31, 加賀市ほか: 14, 金沢市ほか: 14 七尾市ほか:　8, 南砺市ほか:　4, 高岡市ほか:　6 富山市ほか: 16, 佐久市ほか: 11, 茅野市ほか:　5 伊那市ほか: 10, 飯田市ほか:　5, 松本市ほか: 44 大町市ほか:　8, 長野市ほか:　7, 飛騨市ほか: 15 関市ほか: 24, 美濃加茂市ほか:10, 岐阜市ほか:32 多治見市ほか: 6, 大垣市ほか: 14, 瀬戸市ほか: 15 名古屋市ほか: 13,岡崎市ほか: 12**	
回答年代	男性	10代：　2　　20代：11 30代：12　　40代：40 50代：50　　60代以上：69
	女性	10代：　3　　20代：15 30代：31　　40代：31 50代：33　　60代以上：27
項目数	最大25問	

中部縦貫道開通による訪問の影響が大きいであろう6県を対象

表２ 割付構成比の詳細

地域区分	定義(大野市中心)	割付比 (総人口に対して)
沿線・近隣	60km ＋ 中部縦貫道沿線	33%
中距離圏	60km～80km圏内	23%
遠方	80km以上＋福井県	44%

自動車旅行の調査方法

【条件】直近の高速道路を利用した自動車旅行を思い出し，回答してください．

Q　その旅行の目的地を最大5つまで具体的に記述してください

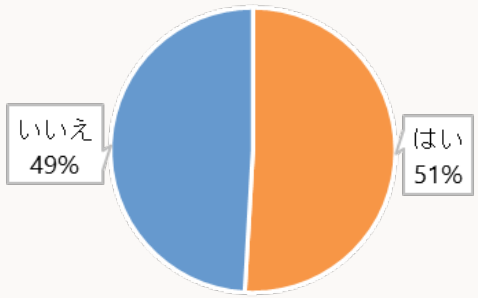
Q　その旅行で，前問で回答した目的地以外の立ち寄り（休憩や寄り道）はありましたか．

1．コンビニエンスストア
2．SA・PA
3．道の駅(立ち寄りとして)
4．土産物店(立ち寄りとして)
5．ガソリンスタンド
6．ドライブスルー
7．飲食店
8．観光案内所
9．その他

→ それぞれに対し，0～60分の間で滞在時間を選択

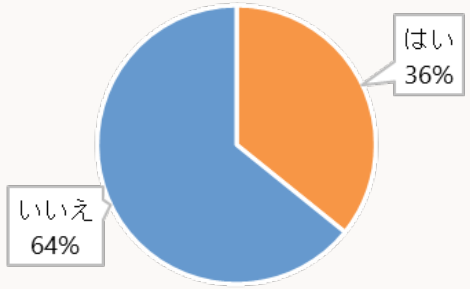
アンケートの基礎集計結果

大野市の名前を知っていますか



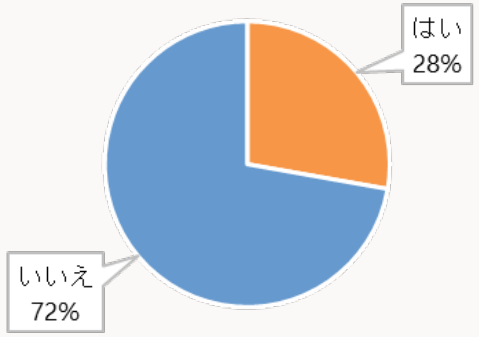
n=324

大野市の場所を知っていますか
（地図上でだいたいこのあたりと示せる程度）



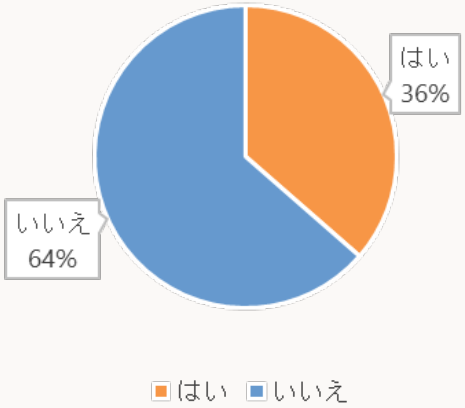
n=324

大野市を訪れたことがありますか



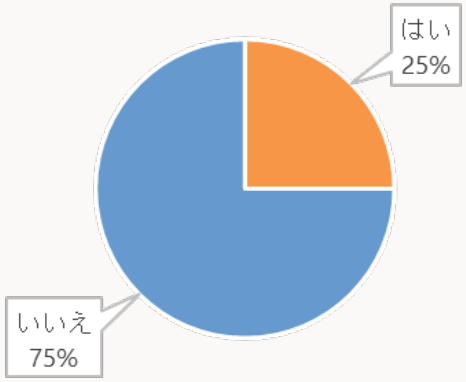
n=324

中部縦貫自動車道の開通により福井県と岐阜県が
高規格幹線道路でつながることを知っていますか



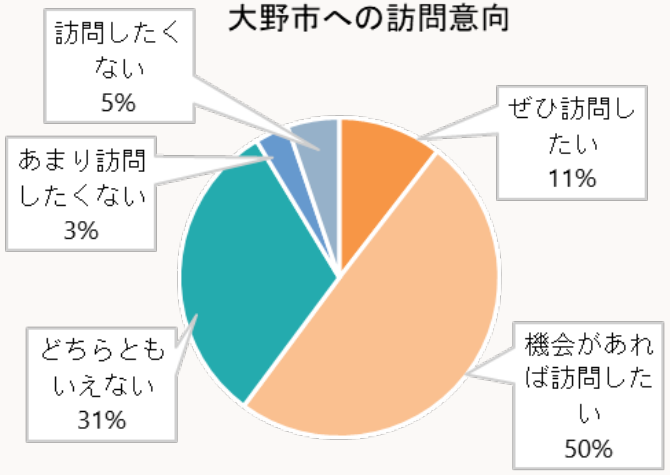
n=324

中部縦貫自動車道の福井県区間は無料で
通行できることを知っていますか



n=324

大野市への訪問意向



n=324

アンケートの基礎集計結果

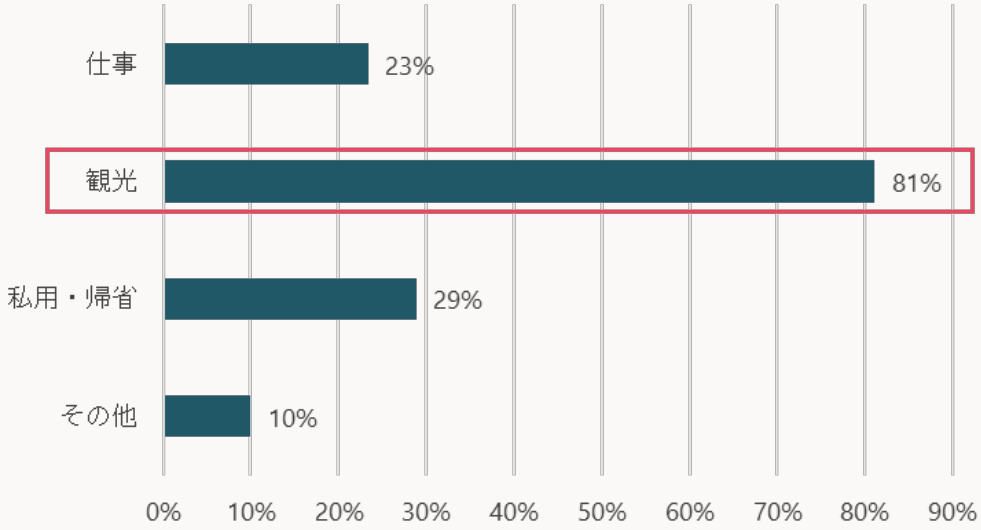
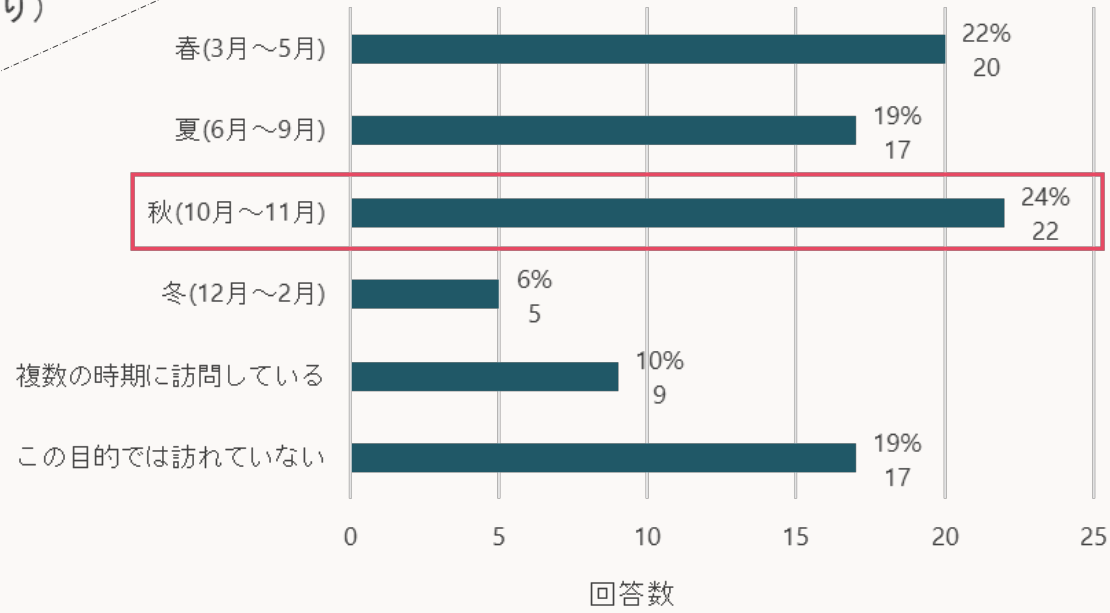


図2　大野市への訪問目的（複数回答あり）

観光目的で「大野市を訪れたことがある」と回答した割合

→ 81%



10月～11月に訪れた人は，
2か月間にもかかわらず
最も多い

図3　大野市へ観光目的で訪れた際の訪問時期 (n=90)

アンケートの基礎集計結果

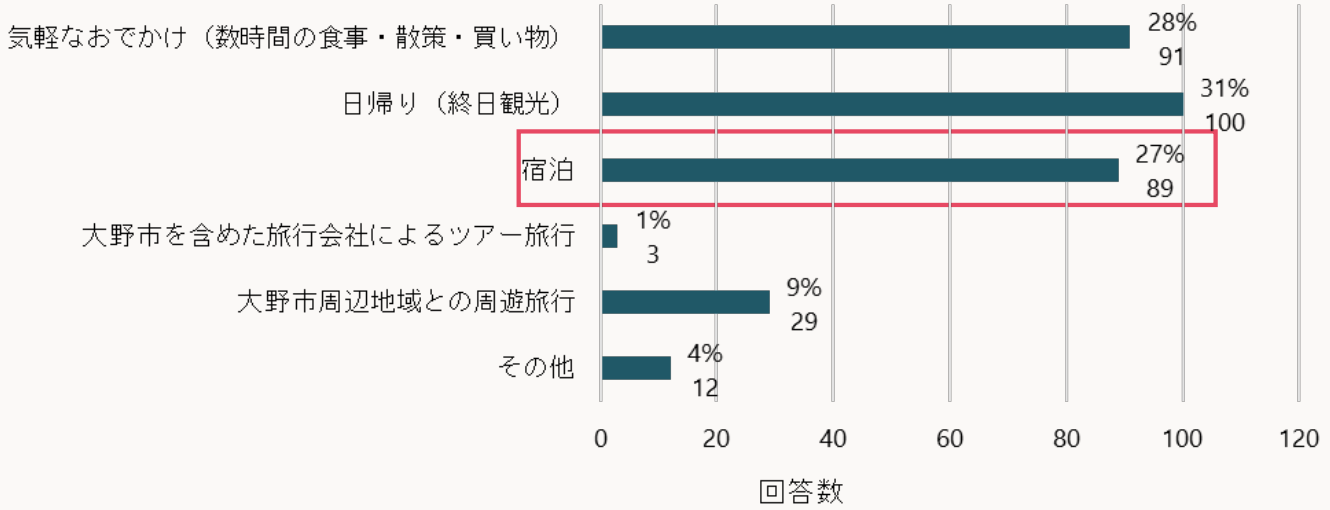


図4　大野市を訪れる際に志向する訪問形式

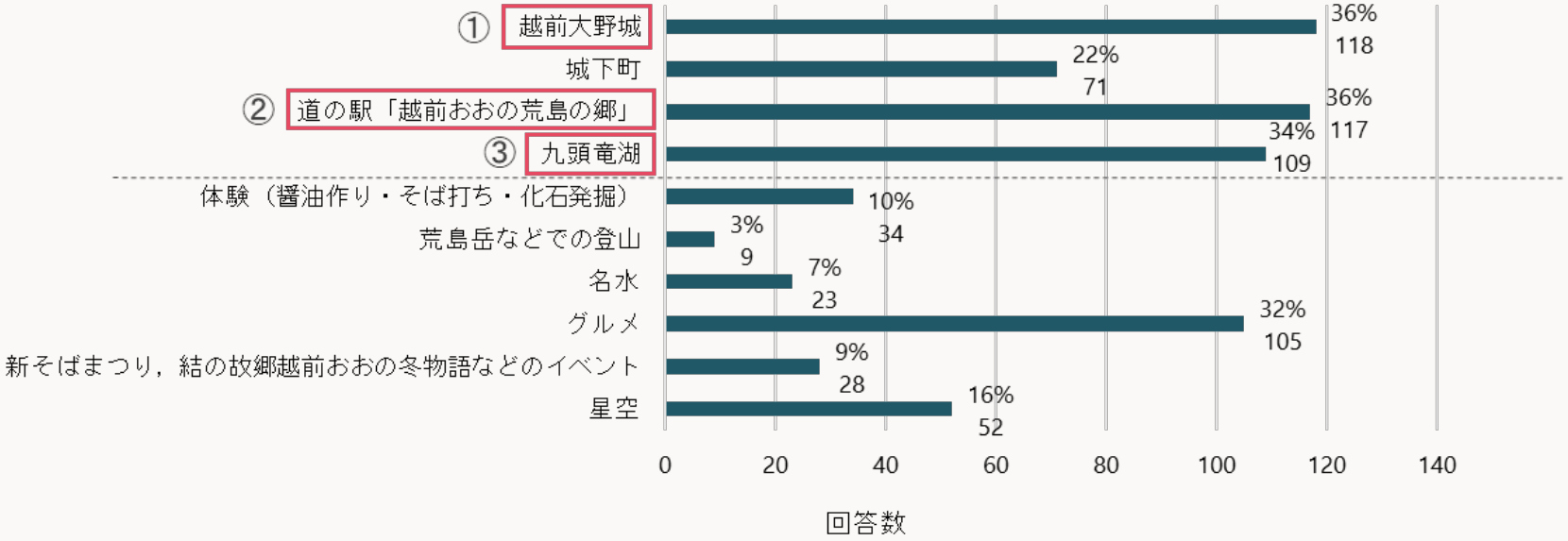


図5　大野市の気になった観光コンテンツ

アンケートの基礎集計結果

【アンケート設問の抜粋】

どちらのルートを選択しますか.

ルート①：中部縦貫道経由
- 所要時間15分，無料区間
- 約7割がトンネル

ルート②：一般道経由
- 所要時間23分
- 観光コンテンツが多数
- 坂道，カーブ多数

ルート① → **231人 (71%)**
ルート② → **93人　(29%)**

Q，今回開通する中部縦貫自動車道（九頭竜～油坂区間）において、ご自宅から該当区間を通る場合、地図のルート①とルート②のどちらを選択しますか。地図や下記説明文を参考に，あてはまる方を選択してください。

図6　ルート概要

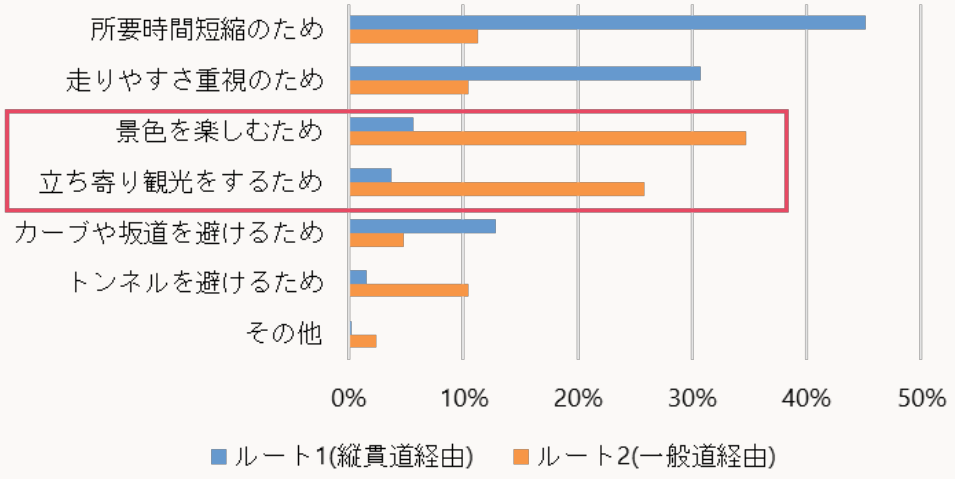
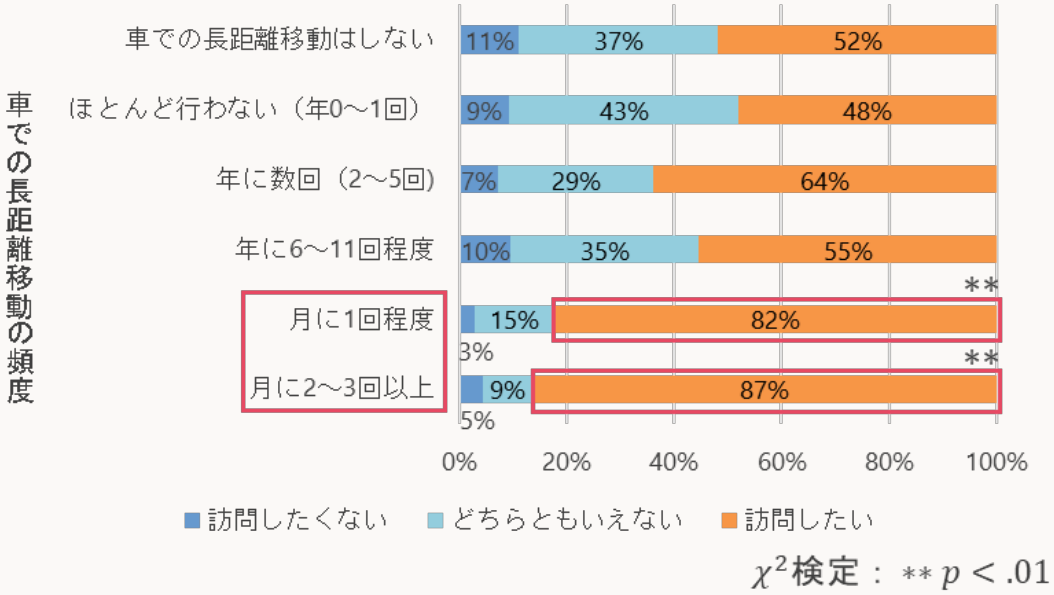


図7　ルート選択理由の割合（複数回答可）

表3　ルート選択と大野市への訪問意向のクロス集計

	訪問したくない	どちらともいえない	訪問したい
ルート1(縦貫道経由)	21	75	135
	9%	32%	**58%**
ルート2(一般道経由)	5	2	26
	8%	28%	**65%**

アンケートの基礎集計結果

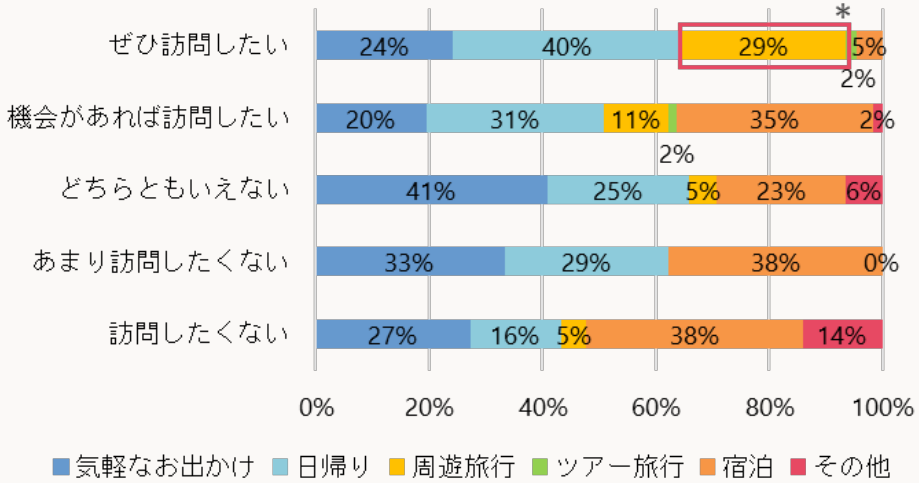


χ^2検定： $** p < .01$

図8　車での長距離移動の頻度と大野市への訪問意向の関係

車での長距離移動
（概ね100km以上，1時間半以上の運転）

➡　月に1回以上の層は，大野市への訪問意向が高い



χ^2検定： $* p < .05$

図9　大野市への訪問意向と訪れる際の訪問形式の関係

大野市への訪問意向が高い

➡　大野市を訪れるとしたら，「周辺地域との周遊旅行を志向する」割合が高い．

アンケートの基礎集計結果

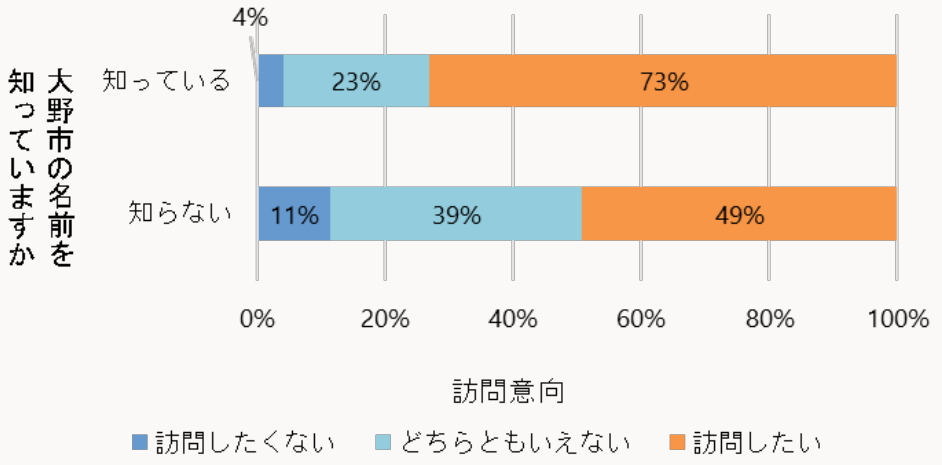


図10　大野市の認知と訪問意向の関係

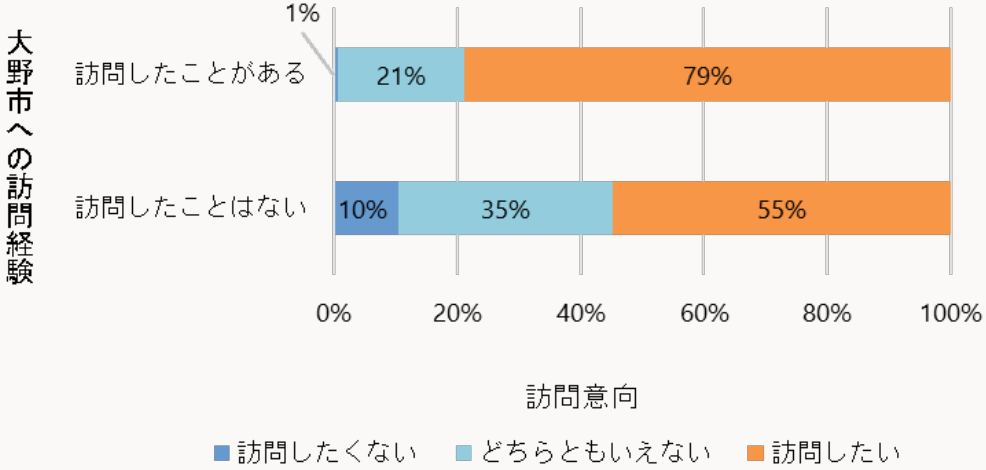


図11　大野市への訪問経験と訪問意向の関係

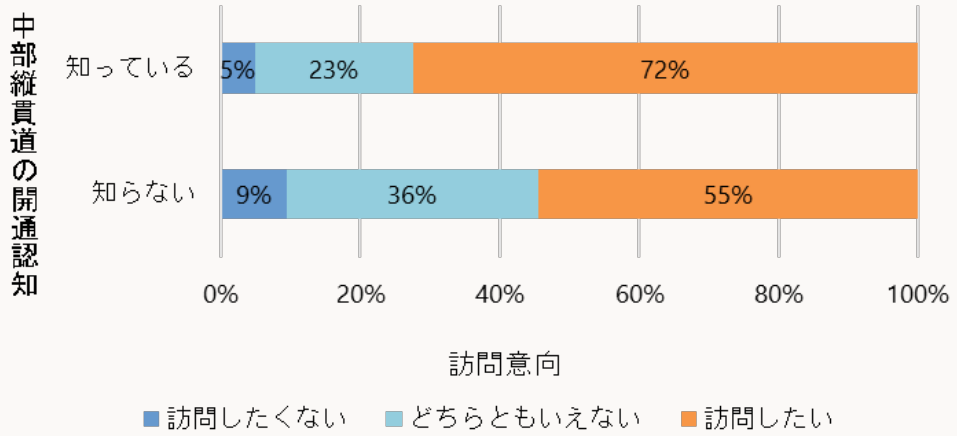
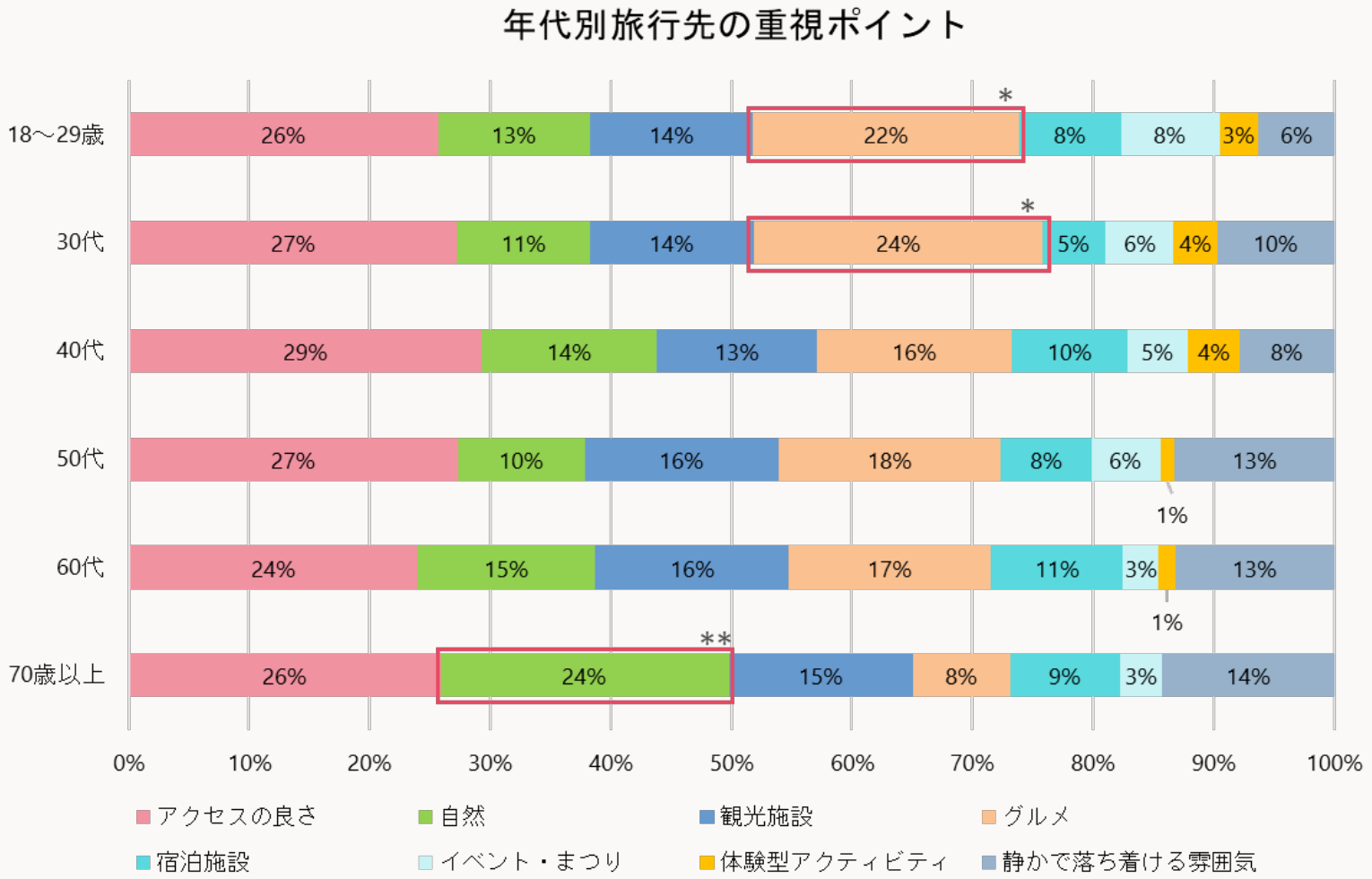


図12　中部縦貫道の認知と訪問意向の関係

アンケートの基礎集計結果



χ^2検定：$^{**}p < .01$，　$^{*}p < .05$

図13　年代と旅行先の重視ポイントの関係

アンケートの基礎集計結果

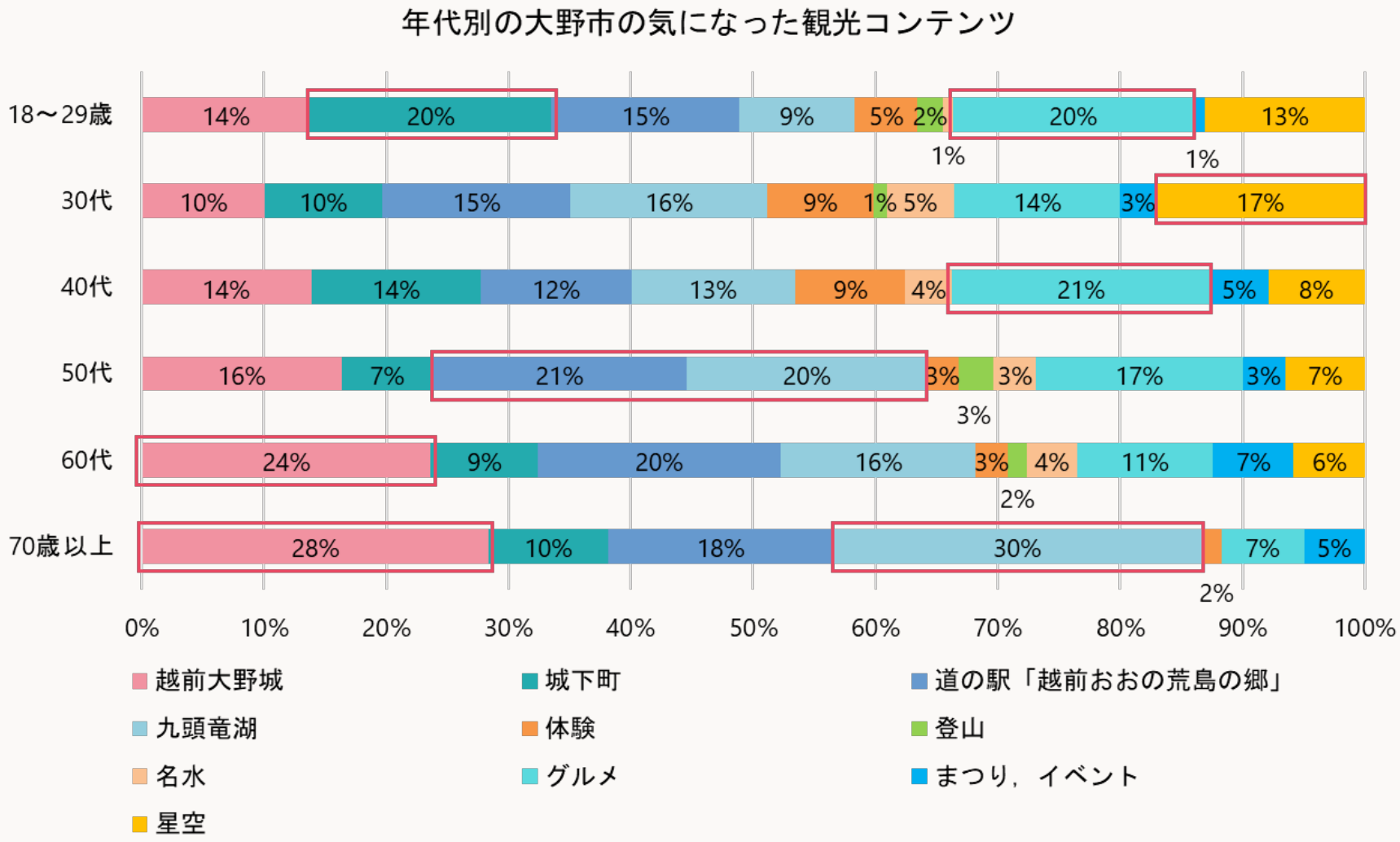
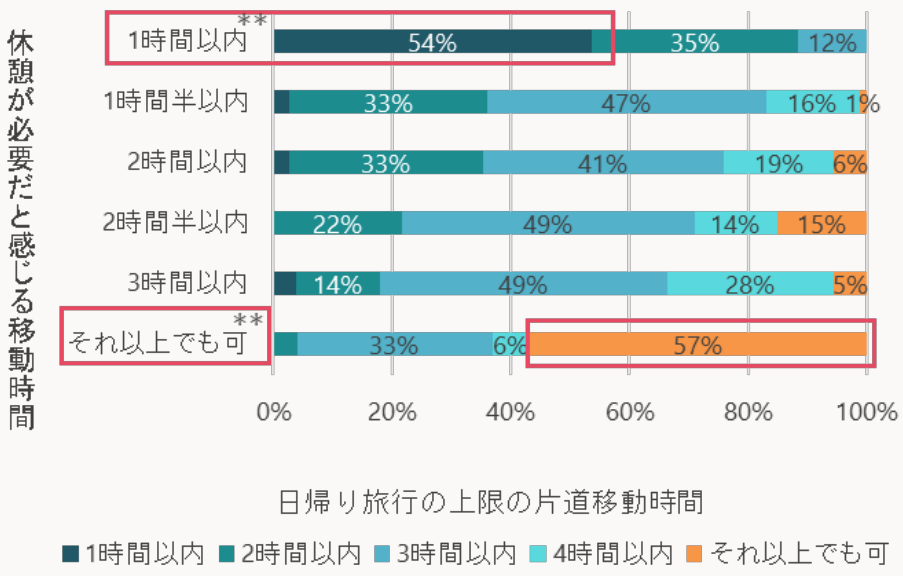


図14　年代と大野市の観光コンテンツの関係

自動車旅行の基礎的傾向把握



χ^2検定： $**p < .01$, $*p < .05$

図15　休憩頻度と日帰りの上限の片道移動時間の関係

- こまめに休憩する層（休憩頻度1時間以内）

  ➡ 日帰り上限の片道移動時間が1時間以内の割合が高く，行動圏としては狭くなる傾向

- 連続運転を許容する層（休憩頻度3時間以上でも可）

  ➡ 日帰り上限の片道移動時間が3時間以上の割合が高く，行動圏としては広くなる傾向

- 休憩頻度が1時間以内かつ日帰り旅行の上限の片道時間が2時間以内

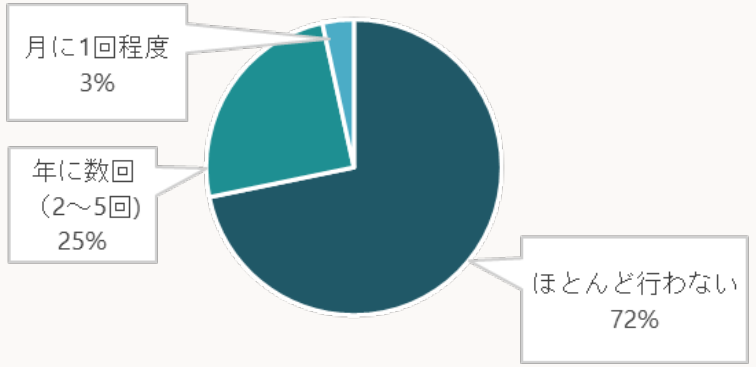


図16　車での長距離移動の頻度（n=27）

- 休憩頻度が3時間以上かつ日帰り旅行の上限の片道時間が3時間以上

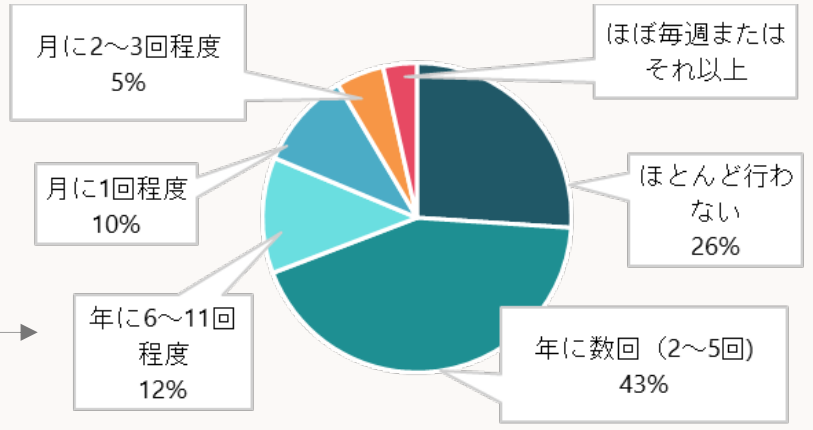
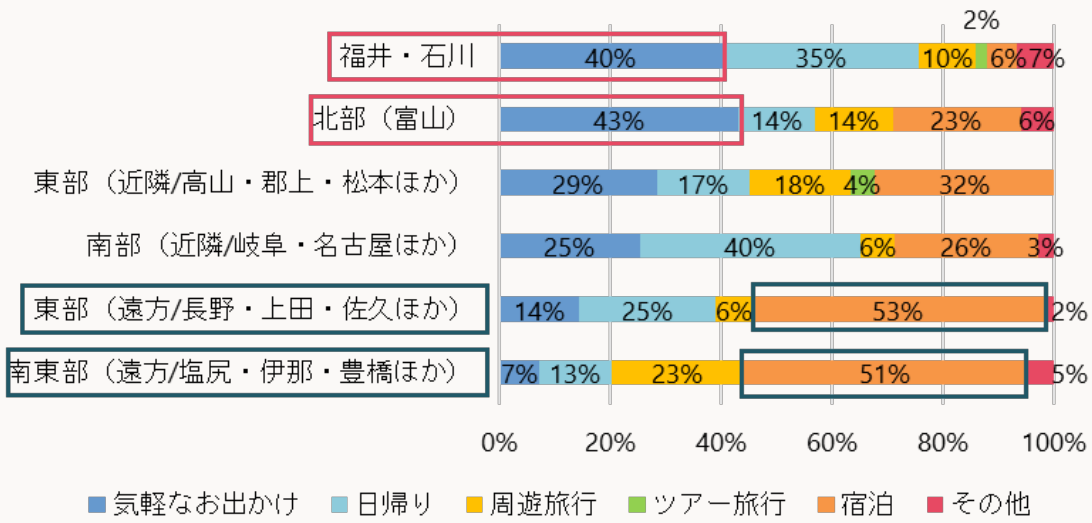


図17　車での長距離移動の頻度（n=35）

各ゾーンとの集計結果



χ^2検定：$**p < .01$，$*p < .05$

図16　ゾーンと訪問形式の関係

集計にあたっては大野市からの到達時間と道路ネットワークの関係から6ゾーンに設定

- 近隣地域

  短時間で行ける気軽なお出かけ，日帰り旅行の割合が高い

- 遠方地域

  宿泊を伴う訪問形式の割合が増加

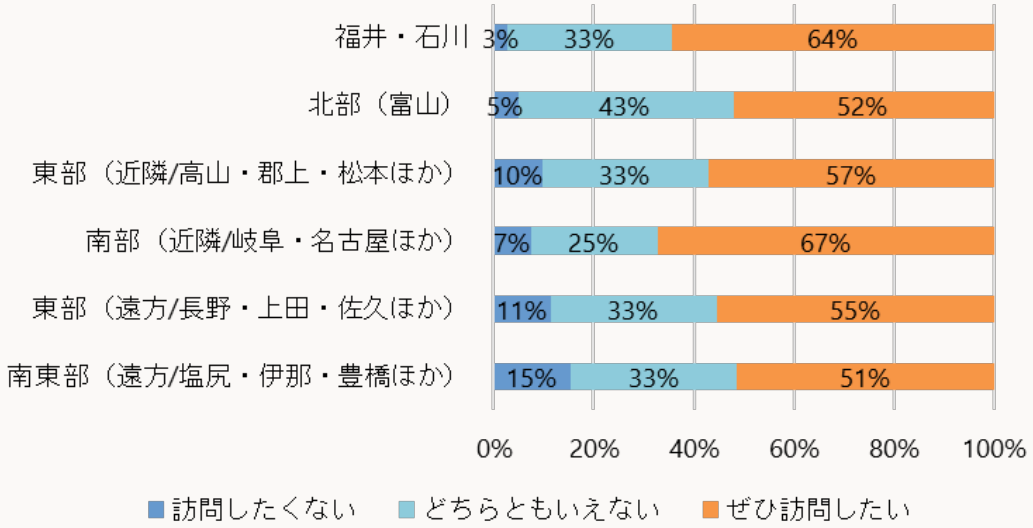


図17　ゾーンと訪問意向の関係

大野市からの距離による訪問意向に大きな差はみられなかった（$p > .05$）

遠方地域になるほど，「訪問したくない」の割合はわずかに増加するが，10～15%ほどにとどまる

各ゾーンとの集計結果

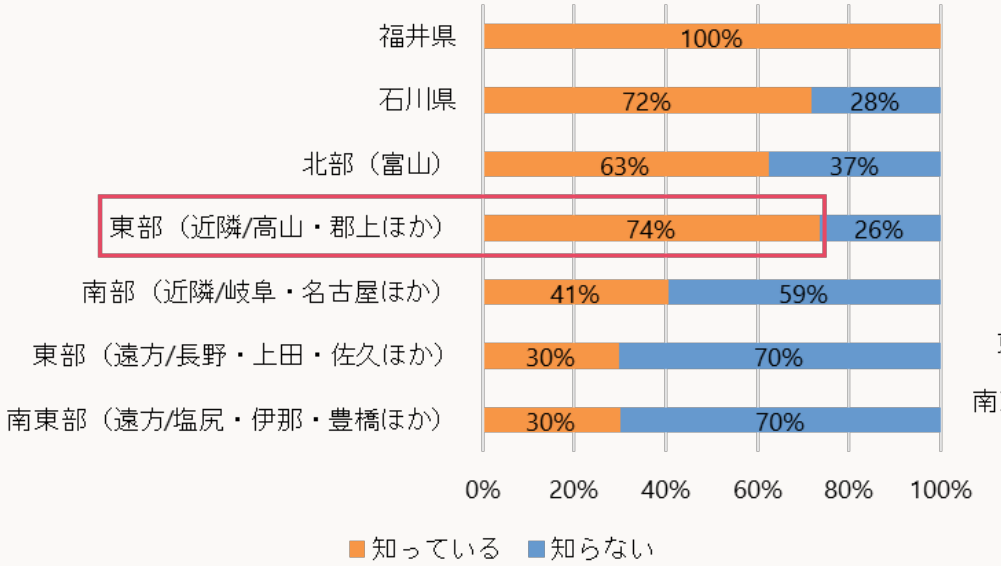


図18　ゾーンと大野市の認知の関係

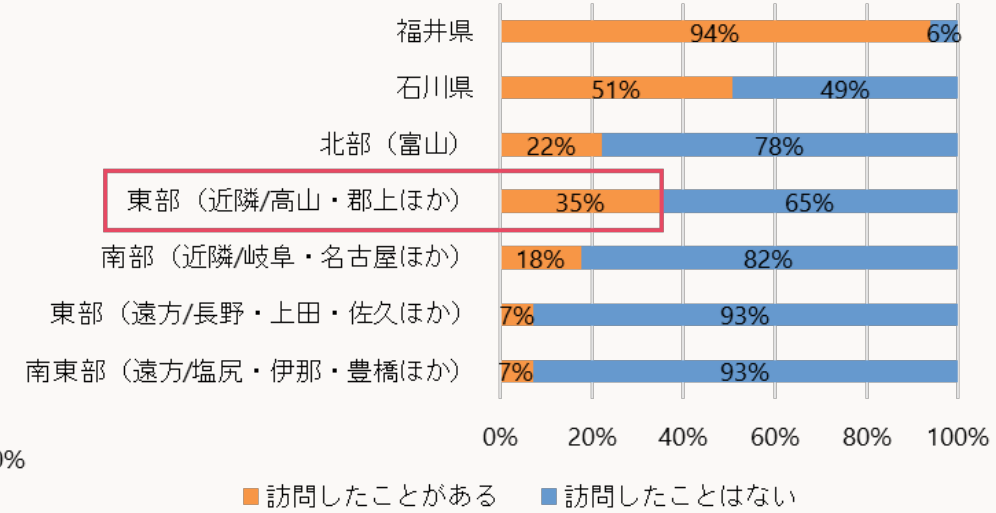


図19　ゾーンと大野市への訪問経験の関係

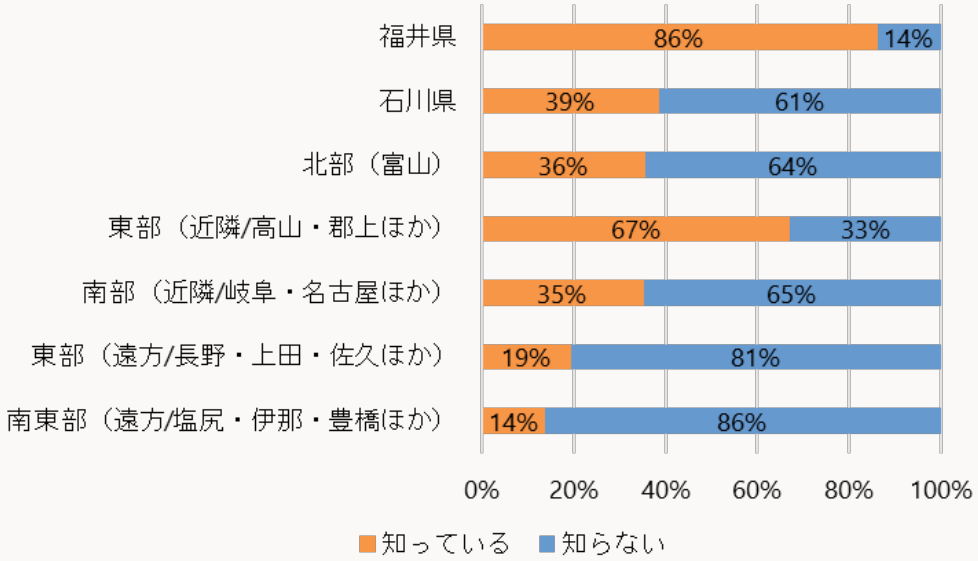


図20　ゾーンと中部縦貫道の認知の関係

郡上市・高山市・飛騨市などは大野市にほど近いにも関わらず，訪問経験がある人は少ない

↓

中部縦貫道の開通により誘致する必要性

大野市におけるターゲティングのまとめ

表5　大野市への訪問意向が高い属性・志向・行動パターンの整理

属性・志向・行動パターン	全体としての 回答数/割合	そのうち，訪問したい （4と5の回答者）の回答数/割合
大野市を知っている	163 51%	118 72%
訪問したことがある	89 27%	69 79%
車での長距離移動の頻度が月に1回以上	62 19%	52 84%
自然の豊かさを重視する	107 33%	82 77%
グルメを重視する	143 44%	105 73%
大野市に訪れる際は，周辺地域との 周遊旅行として訪れたい	28 9%	24 86%
南部（近隣/岐阜・名古屋ほか）地域に 居住	121 37%※	80 66%

表6　立ち寄りとして大野市への来訪可能性はある属性・志向行動パターンの整理

属性・志向・行動パターン
大野市からの距離が近い
自然の豊かさを重視する
宿泊施設の充実度を重視する
旅行同行者が，子どもを含む家族連れである
旅行同行者が，家族・友人・知人などとの混合グループである
ルート選択にて， 立ち寄り観光をしたいためという理由で一般道を選択する

まとめと今後の課題

まとめ

① 大野市への来訪可能性として「自然の豊かさを重視する」,「大野市への訪問経験がある」「周辺地域との周遊旅行で来訪したい」などの層が高い可能性を示唆した

② 大野市は短時間や日帰り旅行としての需要が高く，遠方地域においては宿泊を伴う旅行としても需要がある

③ 地域においては，岐阜，名古屋方面からの来訪ポテンシャルが特に高く，東部の郡上市，高山市などは訪問経験がある人が少ないことから，さらなる誘致が必要である

ご清聴ありがとうございました

参考文献

- 国土交通省 関東地方整備局，高規格幹線道路 中部縦貫自動車道 長野国道事務所，最終閲覧 2025/12/02
  https://www.ktr.mlit.go.jp/nagano/nagano00072.html
- 福井県ホームページ，中部縦貫自動車道 福井県ホームページ，最終閲覧 2025/12/03
  https://www.ktr.mlit.go.jp/nagano/nagano00072.html
- 国土交通省，道路の区分と設計速度・設計車両，最終閲覧 2025/12/05
  https://www.mlit.go.jp/road/sign/pdf/kouzourei_3-1.pdf
- 小池淳司・平井健二・佐藤啓輔：高速道路整備による地域の人口及び経済変化に関する事後分析－固定効果モデルによるパネル分析－，土木学会論文集，Vol.68.No.4,pp.388-399,2012
- 上田 大貴，片岡 将，柳川 篤志，川端 祐一郎，藤井 聡：既存高速道路のマクロ経済及び人口分布に対する整備効果に関する研究，土木学会論文集，Vol.75，No.6，ppⅠ_523-Ⅰ_535，2020
- 尾高 慎二，日比野 直彦，森地 茂：観光統計の個票データを用いた旅行者属性と観光行動の特性に関する研究，土木学会論文集，Vol.67，No.5，pp.Ⅰ_727－pp.Ⅰ_735，2011
- 小平 裕和，日比野 直彦，森地 茂：自動車を使用した観光行動の観光統計および交通統計の個票データを用いた時系列分析，土木学会論文集，Vol.70，No.5，pp.Ⅰ_423－pp.Ⅰ_432，2014
- 周瑞翔・大枝良直・外井哲志：ドライバーの運転疲労と施設属性を考慮した高速道路における休憩行動に関する研究，交通工学論文集，Vol.9,No.4,pp.A_60-A_68，2023
- 越前おおの観光ビューロー，結の郷 えちぜんおおの観光ガイド，最終閲覧2025/11/26
  https://www.ono-kankou.jp/
- OpenStreetMap，最終閲覧 2025/12/20
  https://www.openstreetmap.org/#map=12/35.8767/136.7242
- Geofabrik ,Download OpenStreetMap for Japan，最終閲覧 2025/11/15
  https://download.geofabrik.de/asia/japan.html